

岸和田市議会議員候補者

たかひら正明さん（新人）



【質問1】

Q.子どもの権利条約について

A.知っている

【質問1-1】

Q. ①とお答えの方にお聞きします。「子どもの権利条約が国際連合で1989年に採択されてから34年、日本が批准してから29年になります。そのような中、岸和田市において、子ども権利条約が、子どもはもとより、おとなである市民にも十分に周知されているとは言えません。今後、子どもの権利条約に基づく子どもの人権や子どもの性（リプロダクション・生殖・命・性の関係性など）など、地域や校区で子どもに関わるおとなや教育の場で取り組むことについてどう思われますか？

A. 性教育については、私の要望で、市教委と図書館が共同して、小中学生向けの性教育副読本を選定し、市教委HPに掲載しており、市職員管理職などに対する性教育を含め、性教育を促進しています。

更に建国高校のように産業高校において生理休暇制度の設置や、愛知県のように主中学校で不登校へ進まないための有給休暇制度の設置などについて、既に教委と交渉しており、標準服の男女統一ブレザー化や、葛城中学校での体育祭フォークダンスでのスカート着用強要の廃止など、具体的に取り組んでいます。

【質問2】

Q. 子どもの現状に対し、課題だと思えることはなんですか？課題と、課題解決のための施策をお答えください。

A. 就学前の子どもに対する見守りなどの手段が乏しい。

就学前の子どもに対して、漏れのないよう近見視力（近くを見るのに必要な視力）の検査をするよう実現しました。

オムツを見守り支援員が配達するなど、子育ての悩みを早期発見し解決する糸口となるような施策を公約としています。

子どもが自由に発言し、身の回りを変えていけるような子どもの権利条例制定を公約しており、千代松泉佐野市長の公約としても入れてもらっており、南大阪一体となって取り組む準備をしています。

【質問3】

Q. 国では昨年、子ども基本法ができましたが、岸和田市でも子どもの権利を保障する子ども権利条例が必要だと思いますか？

A. はい

【質問3-1】

Q. 質問3ではいとお答えした方にお聞きします。理由をお答えください。

A. 岸和田を含む南大阪では、女性・子ども・障がい者など立場の弱い人たちの人権は、クウキとしても学校などの制度としても阻害されているので。
「子どもをみんなで育むまちきしわだ」の理念を具現化する必要があるから。

【質問4】

Q. 岸和田市の親子のつどいのひろば（子育て支援センター）をご存じですか？

A. 知ってる

【質問4-1】

Q. 岸和田市では2カ所の子育て支援センター（公・民）がありますが、同じ校区に（山側）位置しています。2カ所だけではなく全体を見通しての子育てサポートを充実するためにも増設することが必要だと思いますか

A. 必要

【質問5】

Q. 在宅での子育て（保育園や幼稚園・こども園に行っていない時期の在宅での子育て）の環境について改善する必要があると考えますか

A. ある

【質問5-1】

Q. 「ある」と答えた方は、上記環境が整備されていない原因は何だと考え、どのような取り組みが必要ですか

A. 永野市政が環境整備に予算をつけていないことが原因。
各地域で保護者同士が悩みを共に語れる場の創設や、支援員の家庭訪問。

【質問6】

Q. 岸和田市の子育て環境について（子育てをする上で、必要な地域資源や施設など）

A. 充実していない

【質問6-1】

Q. ②の充実していないとお答えした方にお聞きします。どのような取り組みをお考えですか

A. 永野市政の子育て施策への予算付け。

核となる施設としての子育て支援センターの地域人口に応じた増設と、細かく家庭を見守るような支援員（例えば、民生児童委員が行うなら、子どもの権利やケアなどについて教育を受けることが必要）による家庭訪問。

【質問7】

Q. 議員として子育て支援について取り組みたい施策は何ですか

A. 堺市で行っている、第3子以降の保育料無償化

保護者と保育所の手間を省くオムツの使い放題（サブスク）契約導入

離婚家庭での子供の養育費取り立て支援制度（立て替えと代理請求）

全国で約250自治体が行っている、学校給食費の無償化

子どもの権利条例制定

私が貝塚市に要望して行われた市によるフードドライブを岸和田市でも行い、

フードパントリー（食材無償配布）へつなげ、子ども食堂などを支援する。